

老朽原発 うごかすな！

第1号

発行・「老朽原発うごかすな！
大集会 in おおさか」実行委員会

【連絡先】
090-1965-7102

「5・17大集会」を 9月6日(日)に延期します！

危険極まりない老朽原発の
全廃を求め、1万人以上の結
集を目指して呼びかけられた
「5・17老朽原発うごかす
な！大集会 in おおさか」
（「大集会」と略）の準備は、
順調に進み、5
00件を超える
団体、個人のご
賛同も頂いてい
ます。

なる見通し」であると発表し、
10月の再稼働を企てていま
す。
以上の状況に鑑み、「大集
会 実行委員会」は、「大集会」
の開催を、9月6日(日)に

騰し、原発に依存する電力会
社からの顧客離れが進み、原
発は経済的にも成り立たなく
なっています。一方、原子力
規制委員会は、「特重施設」
の建設が間に合わない原発を

延期を老朽原発全廃への好機に！

停止さ
せてい
ます。
さらに、

しかし、新型コロナウイルス
の蔓延によって、折角準備
したこの大集会も、延期を余
儀なくされています。

一方、関電は、老朽原発の
「安全対策工事」が2から4ヶ
月遅れ、「工事完了が9月に

延期することを決定しました。
ただし、延期よって「老朽原
発うごかすな！」の運動が萎
縮し、禍根を残すことになっ
てはならず、延期を好機とし
て老朽原発全廃に大きく飛躍
することが重要です。
今、原発の安全対策費は高

関電の原発マネー不祥事によっ
て原発への不信は急増してい
ます。したがって、今は老朽
原発廃炉、原発全廃を実現す
る絶好のチャンスです。
原発の40年超え運転と新
設を阻止すれば、最悪でも、
2033年には若狭から、2

049年には全国から稼働す
る原発が無くなります。
「老朽原発うごかすな！大集
会 in おおさか」に総結集し、
老朽原発廃炉を勝ち取り、原
発のない、人の命と尊厳が大
切にされる社会を実現しまし
よう！

「老朽原発うごかすな！大集
会 in おおさか」実行委員会
【連絡先】090-1965-7102
（木原）
（追記：現在までに「大集会」
に寄せられた団体、個人のご
賛同は、開催延期にかかわら
ず、継続させていただきます。）

「マブノマスク」反対！老朽原発 うごかすな！とびわ湖畔でデモ

4月4日、大津市内で第8
5回目を迎え、開始以来10
年目となった脱原発市民ウー
クイン滋賀を行った。

万人を超える「老朽原発うご
かすな大集会 in おおさか」
への大結集の呼びかけ・賛同
の拡大要請がなされた。

呼びかけ人の岡田啓子さん
（ふえみん婦人民主クラブ滋
賀支部）の司会で開会された
デモ出発前小集会では、若狭
の原発を考える会の橋田秀美
さんから、福井県嶺南地方、
すなわち若狭で原発立地地元
の家を一軒一軒尋ねて、アメー
バデモと言うチラシまきと住
民対話の路地裏作戦を6年間
積み重ねてきた経験の成果か
ら、実現しようとしている1

同じくその5・17大集会
実行委員会の木原壮林さんか
ら発言があり、「40年をと
うに超えた老朽原発は高浜原
発1号機を今夏にも再稼働さ
せようと関西電力はたくらん
でいたが、高浜原発関連のト
ンネル工事で死亡事故を出し、
再稼働計画を数か月遅延せざ
るを得なくなっている。新型
コロナ感染問題でもし5月1
7日の集会を延期せねばなら



元気にびわ湖畔デモ (4月1日)

なくなっても、この秋の大集会で反対の意志を大結集できれば、再稼働阻止の世論喚起に遅れを取ることはない。さらに私たちに与えられた新たな数か月を、老朽原発うごかすな」の更なる運動拡大に生かして、災い転じて福となすで歩もう」と訴えがなされた。そして、市民ウオーク呼びかけ人の一人でもある池田進さん(滋賀原発を知る滋賀連絡会)から日本の原発の全体状況の報告を受け、関電滋賀支社前経由でびわ湖畔までの約二キロのデモ行進に出発した。全員マスク着用で整然と、「アベノマスク反対」「市民

命と生活を守る」 「老朽原発うごかすな」 「関電はびわ湖を汚すな」と市民にコロナ感染問題の安倍政権の対応のひどさへの抗議も交えたシュプレヒコールで訴え、桜満開のびわ湖畔を力強くデモ行進した。(さいなら原発・びわこ ネットワーク 稲村守)

2月12日 学習会開かれる
「高浜原発と関電原発マネー還流問題の真相」福井からの報告



原発マネー還流問題の学習会 (2月12日)

原発ゼロの会・大阪は2月12日夜、大阪市内で「高浜原発と関電マネー還流問題の真相」福井からの報告」と題する学習会を行いました。講師は、原発問題住民運動福井・嶺南センター事務局長の山本雅彦さんで、当日は会員・市民など40人が参加しました。山本さんは約40ページに及ぶ詳細な資料を示しながら、貧困・過疎の地に「地域振興策」として原発が建設されていった初期段階、1974年の「電源三法」成立によって多額の交付金、固定資

産税、寄付金が推し進めた70年代の原発建設ラッシュ、一方で原発マネーが人権・金銭感覚を麻痺させ、原発建設の反対運動を分断し、個人攻撃や差別で運動を潰していった経緯、「タナボタ式の街づくり」(高木孝一敦賀市長・1983年時)と語られるほど、原発産業が地場産業の衰退を招いていった状況など、原発立地自治体の歴史を生々しく語りました。また、山本さんは、安倍内閣は2013年の「骨太方針」の中で、政府を挙げての原発

再稼働を決定しており、立地自治体関係者との関係を強化してきた経過を説明。今回の原発マネー不正還流問題での中心人物である元高浜町助役・森山栄治氏との関係の癒着・腐敗構造を安倍官邸が温存・増長させてきたと指摘。関電原発マネー不正還流問題は、その腐敗構造を推進してきた政府にこそ大きな責任があるとし、エネルギー政策を原発依存から脱却・転換させない限り、利権と汚職の構造は消えないと強調しました。

9・6大集会の成功に向けさらなる賛同の拡大を!

「老朽原発うごかすな!大集会」の成功に向けて、すでに500をこえる団体、個人からの賛同が集まっております。1万人を超える大集会の成功のため、さらなる賛同を実行委員会に集中して下さるよう重ねて訴えます。

賛同金は団体1口3000円、個人1口1000円です。複数口のご納入をいただければ幸いです。ご賛同いただけます場合、郵便振替用紙に、団体あるいは個人名、連絡先、お名前公表の可否を明記の上、お振込みください。

【郵便振替加入者名】「老朽原発うごかすな!大集会 in おおさか」実行委員会
【口座番号】00990-4-334563